



## 週間情報



No.3007

発行日 平成30年2月20日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

### 両会の動き

#### ◆ 平成29年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文会長賞入選作品の決定

一般財団法人全国消防協会

標記について、「平成29年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文に係る会長賞入選作品の決定について（通知）」（平成30年2月13日付け全消協第319号）を発出しました。

本年度は、全国の消防職員から128作品（機器の部105作品・論文の部23作品）の応募があり、地区支部選考委員会及び協会選考委員会による選考が重ねられ、このほど会長賞入選作品が決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

#### 記

##### 1 会長賞入選作品

一般財団法人全国消防協会ホームページ（<http://www.ffaj-shobo.or.jp/>）をご参照ください。

##### 2 会長賞の表彰・最優秀賞受賞者による発表

(1) 開催日 平成30年5月31日（木）

(2) 場所 第70回全国消防長会総会会場

「東京ビッグサイト」（東京都江東区有明3-11-1）

#### 【問い合わせ先】

一般財団法人全国消防協会

企画部企画課 渡木、松村

電話：03-3234-1321

E-mail：kikachosei@fcaj.gr.jp

#### ◆ 茨城県消防長会総務部会を開催

茨城県消防長会総務部会

茨城県消防長会総務部会（総務部会事務局：筑西広域市町村圏事務組合消防本部）では、平成30年2月6日（火）、筑西広域消防本部において総務部会を開催しました。

県内23本部の総務担当者は、「消防本部におけるハラスメント等への対応について」を議題に、グループディスカッションを行い、その対応を協議しました。

県内でも頻回に発生する消防職員のハラスメント事案から、全国消防長会で宣言された「全国消防長会ハラスメント防止宣言」などを参考に、防止対策の取り組みや情報提供方法等について話し合い、最後は、茨城県の消防本部からハラスメント撲滅を期するため、各本部が部会で得た取り組み例を参考に尽力することを確認しました。



【グループディスカッションの様子】

## ◆ 平成29年度東播地区消防本部NBC災害対策合同訓練を実施

### 東播地区消防長会（兵庫）

東播地区消防長会（構成消防本部〔三木市（事務局）・明石市・淡路地域・加古川市・北はりま地域・高砂市・小野市消防本部〕）では、平成30年2月8日（木）、兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場周辺及び駐車場において、「東播地区消防本部NBC災害対策合同訓練」を実施しました。

本訓練は、イベント会場において化学剤が散布され多数の傷病者が発生するC災害を想定した内容で、東播地区7消防本部、兵庫県警察本部、三木警察署など関係機関から車両20台、ドローン1機、132名が参加しました。

化学防護服を着装した消防と警察が合同で要救助者の救出・救護、不審物の検知・収去及び要救助者の除染活動などを行い、災害対応能力の向上と、関係機関との連携強化を図りました。



【訓練の様子】



【ドローンによる空撮（兵庫県警提供）】

## ◆ 「岐阜経済大学駅伝部から見るコーチング」研修会を開催

### 岐阜県消防長会西濃ブロック

岐阜県消防長会西濃ブロックでは、平成30年2月9日（金）、大垣消防組合消防本部において、西濃地域にある5消防本部の職員70名が参加し、岐阜経済大学から駅伝部監督の揖斐祐治氏を講師に招き、「コーチング」についての研修会を開催しました。

地域から求められる人材育成を目標とすることがトップアスリートの育成に通じているという指導理念は、我々消防職員の部隊活動が規律・統制によって成立していることから共感できるものがありました。これからも職員一人ひとりの資質を向上させながら、地域住民から信頼される組織づくりを目指していきます。



【研修会の様子】

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 第10回ステアーレース138を開催

##### 一宮市消防本部（愛知）

一宮市消防本部では、平成30年2月6日（火）、国営木曽三川公園138タワーパーク内のツインアーチ138において、第10回ステアーレース138を開催し、当市及び県内近隣9消防本部の19歳から58歳までの消防職員66人が参加しました。

本競技は、ツインアーチ138を災害現場と見立て、高層建築物災害の活動を疑似体験するとともに、消防職員として更なる自己研鑽と士気の高揚につなげ、今後の消防活動に反映することを目的として、平成19年度から開催しています。

防火衣・空気呼吸器を着装し、地上から展望台まで高さ約100m、513段の階段を駆け上がるタイムを競いました。

2021年には市制100周年記念事業として当市において、全国大会を誘致する計画をしております。



【ツインアーチ138】



【階段駆け上がりの様子】

#### ◆ 高校生を対象とした「消防団PR授業」を実施

##### 森町消防本部（北海道）

森町消防本部では、平成30年1月31日（水）、北海道森高等学校において、町の将来を担う高校生に消防団を知ってもらい、卒業後の入団促進を図るべく、「消防団PR授業」を実施しました。

授業では消防団の活動内容や報酬・待遇などを紹介し、町に消防団があることのメリットを、クイズなどを用いて説明しました。

「町を守りたい」「地域の役に立ちたい」という気持ちを活かせる場として消防団があること、また、全国どこでも消防団があり、たとえ離れた土地へ行っても地域のために活躍できるという内容に、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

この授業を通して、当町はもとより、全国的な消防団員数の減少と高齢化に歯止めをかける一端を担えれば幸いです。



【消防団PR授業の様子】

## 訓練・演習

### ◆ 兵庫県消防防災航空隊、洲本市消防団と山岳救助合同訓練を実施

#### 淡路広域消防事務組合消防本部（兵庫）

淡路広域消防事務組合消防本部では、平成30年1月29日（月）、洲本市の鮎屋川ダム周辺の山岳及び城戸アグリ公園を使用し、洲本消防署、兵庫県消防防災航空隊、洲本市消防団との山岳救助合同訓練を実施しました。

現在、当消防本部から航空隊へ救助隊員を1名派遣しており、各機関の更なる連携強化を目的に実施した本訓練には、約30名が参加しました。

これまでも航空隊を要請し、現場活動を行った事例もありますが、改めてヘリコプターの有効性や連携活動の重要性を確認することができました。

今後も継続的にこのような合同訓練等を実施し、各機関との「顔の見える関係」を大切にして、共に管内の安心・安全を守っていきます。



【訓練の様子】

### ◆ 安全運転講習会を実施

#### 埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局狭山消防署では、平成30年1月15日（月）、22日（月）及び29日（月）の3日間、狭山モータースクールにご協力いただき、教習コースを借用し安全運転講習会を実施しました。

今回の講習会は、緊急車両を運転する機関員の運転技術の更なる向上を図るとともに、車両を誘導する際の誘導位置や誘導方法を再確認することを目的とし、災害発生時に、安全確実に1秒でも早く現場に到着出来るよう各機関員が意欲的に取り組みました。



【運転技術向上・車両誘導訓練の様子】

## ◆ 平成29年度第2回警防活動技術練成会（救急活動）を実施

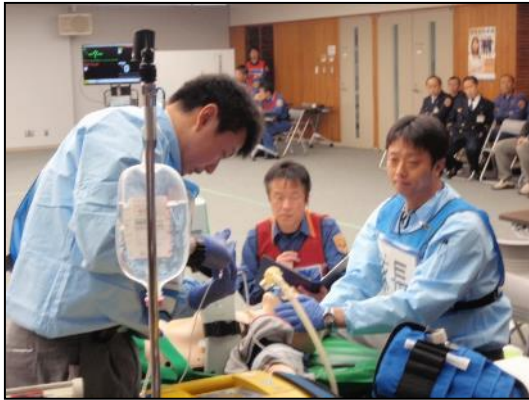
### 南越消防組合消防本部（福井）

南越消防組合消防本部では、平成30年2月2日（金）、当消防組合消防防災ホールにおいて、平成29年度第2回警防活動技術練成会（救急活動）を実施しました。

訓練隊員には、事前に訓練の内容やシナリオ等を一切与えないブラインド方式とし、本番さながらの緊張感あふれる活動が行われました。

本練成会では、当消防組合が所属する丹南メディカルコントロール協議会長の島田耕文医師から119番受信時の聴取方法や救急隊の活動について検証と講評を受け大変有意義な訓練となりました。

今後も更に実践的な訓練等を通じて、指令情報課員及び救急隊員の連携及び資質の向上に努めていきます。



【練成会の様子】



【島田医師による検証と評価の様子】

## ◆ 特別救助隊USARチームによるCSRM全体勉強会を開催

### 大館市消防本部（秋田）

大館市消防本部では、平成30年2月7日（水）、当本部屋内訓練場においてCSRM勉強会を実施しました。

当本部では特別救助隊を4チーム（USAR、山岳、水難、ロープレスキュー）に分けてチーム内勉強会、全体勉強会を実施しており、今回はUSARチームによる倒壊建物に見立てた狭隘空間からの救助活動の展示を行いました。

チーム員以外の訓練参加隊員も狭隘空間での基本的手技について訓練を実施し、救助隊員間の知識・技術の共有を図りました。



【屋内訓練場の様子】



【狭所空間救助訓練の様子】

※ USAR・・・都市型搜索救助（Urban Search And Rescueの頭文字をとったもの）  
CSRM・・・狭所空間救助・救急（Confined Space Rescue and Medicineの頭文字をとったもの）

## ◆ 第15回警防技術発表会（愛西市・稲沢市消防合同訓練）を実施

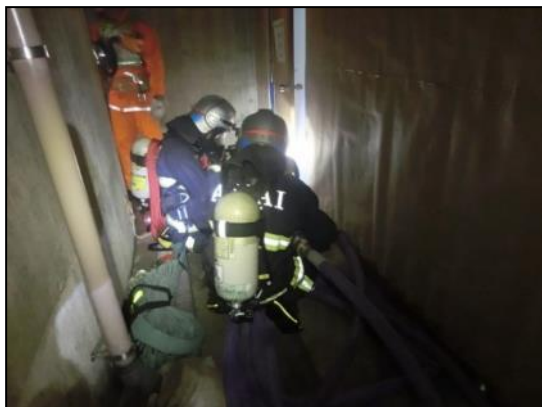
### 稲沢市消防本部（愛知）

稲沢市消防本部では、平成30年2月7日（水）、稲沢市消防本部において、中高層建物火災を想定した合同訓練「第15回警防技術発表会」を実施しました。

本訓練は、消防相互応援協定を締結する愛西市消防本部（愛知）と合同で実施することにより、二市の連携向上及び応援体制の確立を目的としており、参加車両は、愛西市消防本部の消防車が2台、稲沢市消防本部の消防車が4台で、約80人が参加しました。

耐火造6階建リフォーム中の建物の1室から出火し、最上階に逃げ遅れ1人、他の要救助者の情報は不明という想定で、二市消防本部の連携の取れた部隊運用を主眼として実施しました。

訓練実施後には、検討会を行い二市の連携を強化し、災害現場において円滑な活動が実施できる体制を構築することができました。



【愛西市隊による屋内検索の様子】



【稲沢市隊による梯上放水の様子】

## ◆ 三機関の潜水土が一堂に会する連絡会議を開催

### 神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、平成30年2月9日（金）、兵庫県警察本部において「第17回兵庫県水難事故救助機関連絡会議」が開催されました。

当会議は毎年、兵庫県下の水難事故に対応する救助機関である消防・警察・海上保安庁の三機関が一堂に会して水難事故について話し合う、全国でも珍しい会議です。

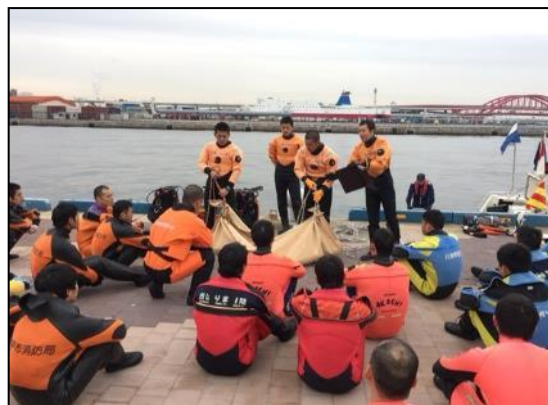
参加者は、実際に災害現場へ出動する潜水隊員で、日頃の訓練内容、取り組みや技術等、機関相互の隔たりを越えた忌憚のない現場目線での話し合いが行われました。

また、会議の他にも、年10回程度、プールや海洋での三機関合同潜水訓練を実施しており、潜水隊員はより安全・確実な潜水技術の習得を目指して切磋琢磨しています。

これらの取り組みにより、各機関の連携強化が図られ、実災害の現場でも良好な活動が行われています。今後も引き続きこの三機関が丸となり、兵庫県下における水難事故に対して、より安全・確実・迅速な現場活動が行えるよう努めていきます。



【連絡会議の様子】



【合同潜水訓練の様子】

## 研 修 等

### ◆ 火災調査事例報告会を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、平成30年2月6日（火）、松山市防災センターで火災調査事例報告会を実施しました。

本報告会は、各消防署で対応した火災調査事例や火災調査に係る実験研究等をプレゼンテーション方式で報告するもので、火災調査技術の習得や予防行政への反映方策などの実務能力向上を図ることを目的に毎年実施しています。

今年の報告会では、約60名の県内消防本部の職員の方々にも聴講していただき、火災調査の重要性を学んでいただきました。



【報告会の様子】

### ◆ JPTECファーストレスポnder研修会を実施

太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部では、平成30年2月6日（火）及び9日（金）、JPTECファーストレスポnder研修会を実施し、通信指令課員24名が参加しました。

本研修は、重症外傷傷病者に対して事故等の早期認識から救急隊に引き継ぐまでの初期対応を実践できるよう指令係、指揮係及び管理係が傷病者の命を救い、後遺症を軽減する体制を目的として実施されました。

今回の研修を通じて、バイスタンダーが救急隊に引き継ぐまでの間、何をすべきか、何をすべきでないかを指令課員の立場として学び、今後の業務に活かせる有意義な研修となりました。



【研修会の様子】

※ JPTECファーストレスポnderコースは、外傷傷病者に遭遇する可能性のある非医療従事者を対象として傷病者発見（事故等の覚知）から救急隊等に引き継ぐまでの対応をJPTECの概念に基づいて学ぶ、約2時間30分のコースです。（一般社団法人JPTEC協議会ホームページより）

## ◆ 消防法令違反是正事例発表会を開催

### 多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、平成30年2月5日（月）及び6日（火）、市内における消防法令違反の建物について違反是正事例の発表会を開催しました。

発表会には、岐阜市と春日井市（愛知）の両消防本部から違反是正アドバイザーを迎え、近隣6市の消防本部にも参加していただきました。

発表会では、当消防本部で今年度、試行的に実施した隔日勤務予防担当者による工場関係の違反処理についての発表を行いました。隔日勤務予防担当者は、消防士から司令補まで階級問わず、それぞれが違反是正に向けて取り組み、他業務、訓練、出勤等で出向人員や時間の限られた中、警告・命令への履行期限に向け、違反処理マニュアルや多治見市違反処理以降基準を片手に奮闘し、自火報16件、屋内消火栓17件の違反改修という成果を上げることができました。

来年度からも、市民の安全を守るべく管内の重大違反を全て改善するために、多治見市消防本部の隔日勤務予防担当者は闘い続けます。



【発表会の様子】

## ◆ 平成29年度救急技術研修会を開催

### 今治市消防本部（愛媛）

今治市消防本部では、平成30年2月7日（水）及び8日（木）、消防本部4階会議室において、平成29年度救急技術研修会を開催しました。

本研修会では、救急現場に従事する隊員間の連携強化と救急活動技能の向上を目的として、各署所から選抜された8隊の救急隊がブラインド型の想定訓練を実施しました。

訓練終了後には、当消防本部の指導救命士が活動について評価するとともに、参加者全員が課題について検討を行いました。

研修の成果を今後の救急活動に反映させ、病院前救護活動の充実と更なる救命率の向上を図っていきます。



【発表会の様子】

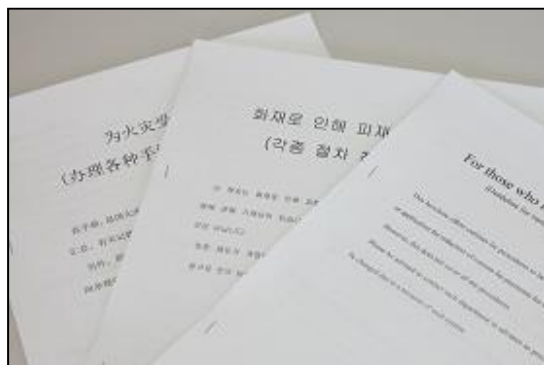
## そ の 他

### ◆ 被災者の生活再建を迅速に ～外国人向け資料作成、ウェブサイトで公開～

#### 東大阪市消防局（大阪）

東大阪市消防局では、火災の被災者が迅速に生活を再建できるように、各種証明書等の再交付、就学援助などの優遇措置、減免措置等の手続きをまとめた資料を作成し配布していました。

しかし、市内には外国人居住者も多く、一人でも多くの市民に対応していただくため、東大阪市民人権文化部文化国際課（国際情報プラザ）の協力で英語、中国語、韓国語の資料を作成、ウェブサイトで公開しました。今後も市民ニーズを的確にとらえ、消防業務に反映させてまいります。



東大阪市HP>東大阪市消防局>お知らせ から当該資料ページにアクセスできます。

(<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000021268.html>)

スマートフォンからは、右記QRコードをご利用ください。



### ◆ 「瓦木消防署甲東分署開庁式」を挙行

#### 西宮市消防局（兵庫）

西宮市消防局では、平成30年2月9日（金）、瓦木消防署甲東分署の新築移転に伴い、開庁式を挙行了しました。

鳴尾消防署浜分署の開庁式以来、19年ぶりとなる式典では、西宮市議会議員をはじめ多くの関係者列席のもとテープカットや庁舎披露を行いました。

新庁舎は、消防活動拠点として必要な耐震強度を有し、72時間対応の自家発電設備を設置するほか、執務スペースと職員の生活スペースを階層により分離させることで、来庁者と出勤する職員が交錯することなく安全かつ迅速に出勤できるよう配慮しています。

#### 庁舎概要

|        | 庁舎棟                                                     | 倉庫棟                    | 駐輪場       | 計         |
|--------|---------------------------------------------------------|------------------------|-----------|-----------|
| 敷地面積   | 1,076.53㎡                                               | 231.78㎡                |           | 1,308.31㎡ |
| 建築面積   | 424.09㎡                                                 | 19.12㎡                 | 8.72㎡     | 451.93㎡   |
| 延べ面積   | 1,237.71㎡                                               | 38.24㎡                 | 22.13㎡    | 1,298.08㎡ |
| 構造     | 鉄骨造3階建                                                  | 鉄筋コンクリート造<br>地下1階地上1階建 | アルミニウム合金造 |           |
| 配置車両   | タンク車、ポンプ車、救急車、活動支援車、査察広報車                               |                        |           | 5台        |
| 主な付帯設備 | 屋上壁面等訓練場所・自家発電設備・排気ガス処理換気扇<br>個室仮眠室・女性仮眠室・防火衣洗濯機・防火衣乾燥機 |                        |           |           |



【新庁舎外観】



【開庁式の様子】

### 通知等

#### ◆ 「洪水警報の危険度分布」の活用について（平成30年2月14日、消防災第24号）

消防庁国民保護・防災部防災課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、平成29年7月九州北部豪雨災害など、集中豪雨等により急激に水位が上昇する傾向がある中小河川において、多数の死者・行方不明者が発生するなど、甚大な被害が生じております。

消防庁では先般、「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する今後の取組について」（平成29年12月8日付け府政防第1546号・消防災第160号）において、水害発生のおそれがある場合に避難勧告等の発令の引き金となる情報を整理することや洪水予報河川・水位周知河川以外の「その他河川」に係る避難勧告等の発令基準を策定することなどについて、要請しているところです。

この度、消防庁において、関係自治体及び気象庁の協力のもと、平成29年7月から気象庁による提供が開始された新たな防災気象情報である「洪水警報の危険度分布」の実例等について、別添（※省略）のとおりとりまとめました。

貴職におかれましては、貴都道府県関係部局及び貴管内市町村に対し、「洪水警報の危険度分布」を有効に活用することを周知していただくとともに、「避難勧告等に関するガイドライン」（平成29年1月内閣府（防災担当））も参考の上、貴管内市町村による「洪水警報の危険度分布」を活用した避難勧告等の発令基準の策定に当たり、必要な支援をお願いいたします。

また、気象台と連携の上、各地域の洪水害の実例について、「洪水警報の危険度分布」の変化と実際の河川氾濫の状況の関連性等を検証し、「洪水警報の危険度分布」の有効性を確認するとともに、さらなる精度向上に向け、気象台による検証等に積極的にご協力してくださるようお願いいたします。

#### 【担当】

消防庁国民保護・防災部防災課  
光永災害対策官、和田係長、加藤事務官  
電 話：03-5253-7525  
FAX：03-5253-7535

○ 全文は消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/02/300214\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/02/300214_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

### 報道発表

#### ◆ 「洪水警報の危険度分布」の活用についての情報提供（平成30年2月14日、消防庁）

消防庁では、関係自治体及び気象庁の協力のもと、洪水予報河川や水位周知河川以外の河川（いわゆる中小河川、以下「その他河川」とする。）における防災対応強化の参考にしていただくため、「洪水警報の危険度分布」の実例等を取りまとめ、別添（※省略）のとおり地方公共団体に対し情報提供しましたので公表します。

○ 趣旨

「その他河川」は、多くの場合、水位計等が設置されていなかったり、氾濫危険水位や避難判断水位等が設定されていなかったりするため、避難勧告等の発令基準を策定することが難しいのが現状です。

こうした中で、「流域雨量指数の予測値」は、「避難勧告等に関するガイドライン（平成29年1月内閣府（防災担当））」の中で、「その他河川」等の避難勧告等の判断基準の設定例として位置づけられたほか、「洪水警報の危険度分布」も「その他河川」等における水位上昇の見込みを早期に把握するための情報の1つとして活用することも有効とされたところです（「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する今後の取組について（平成29年12月の内閣府・消防庁連名通知）」）。

このため、消防庁において、関係自治体及び気象庁の協力のもと、「その他河川」における防災対応強化の参考にさせていただくため、「洪水警報の危険度分布」の変化と実際の河川氾濫の状況の関連性等を確認しました。

#### ○ 概要

新潟県内の6河川、秋田県内の1河川及び福岡県内の2河川について、「洪水警報の危険度分布」の変化の状況、河川氾濫等の災害の発生時刻、避難勧告等の発令時刻を時系列でとりまとめ、河川毎に「洪水警報の危険度分布」の有効性等を確認しました。

#### 【担当】

消防庁国民保護・防災部防災課  
光永災害対策官、和田係長、加藤事務官  
電 話：03-5253-7525  
FAX：03-5253-7535

#### ○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/02/300214\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/02/300214_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

### ◆ 「災害時等における無人航空機による情報収集活動（撮影等）」に関する協定事業者の公募 （平成30年2月16日、消防庁）

消防庁では、「災害時等における無人航空機による情報収集活動（撮影等）」に関する協定事業者の公募を次のとおり行います。

#### 1 協定概要

- (1) 協定目的：災害時等において、無人航空機に関する必要な操縦技術等を有する民間事業者との連携により、災害現場の映像や画像などを撮影し消防庁に速やかに伝送することによって、災害状況を迅速に把握することを目的として、協定を締結します。
- (2) 協定期間：平成30年4月1日から平成33年3月31日まで
- (3) 選定方法：公募により協定事業者を選定

#### 2 スケジュール（予定）

- (1) 平成30年2月16日（金）：公募開始
- (2) 平成30年3月2日（金）：申請書提出期限
- (3) 平成30年3月9日（金）：公募結果を通知
- (4) 平成30年3月下旬頃：協定締結
- (5) 平成30年4月1日（日）：協定発効

#### 3 公募に関する資料

消防庁HP ([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList5\\_5\\_3.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList5_5_3.html)) にてダウンロードできます。

#### 【連絡先】

消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室  
広域応援施設係（佐藤、椿、伊藤）  
TEL：03-5253-7527  
FAX：03-5253-7537

## 情報提供

### ◆ 消防本部の住所変更について

#### ○ 綾瀬市消防本部（神奈川）（会員コード：31919）

- ◇変更日 : 平成30年2月13日（火）
- ◇新郵便番号 : 252-1107
- ◇新住所 : 綾瀬市深谷中1丁目2番1号
- ◇変更理由 : 住居表示変更のため

※ 消防庁各課室の直通電話番号は（<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>）に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)